

A. 山留工事の概念

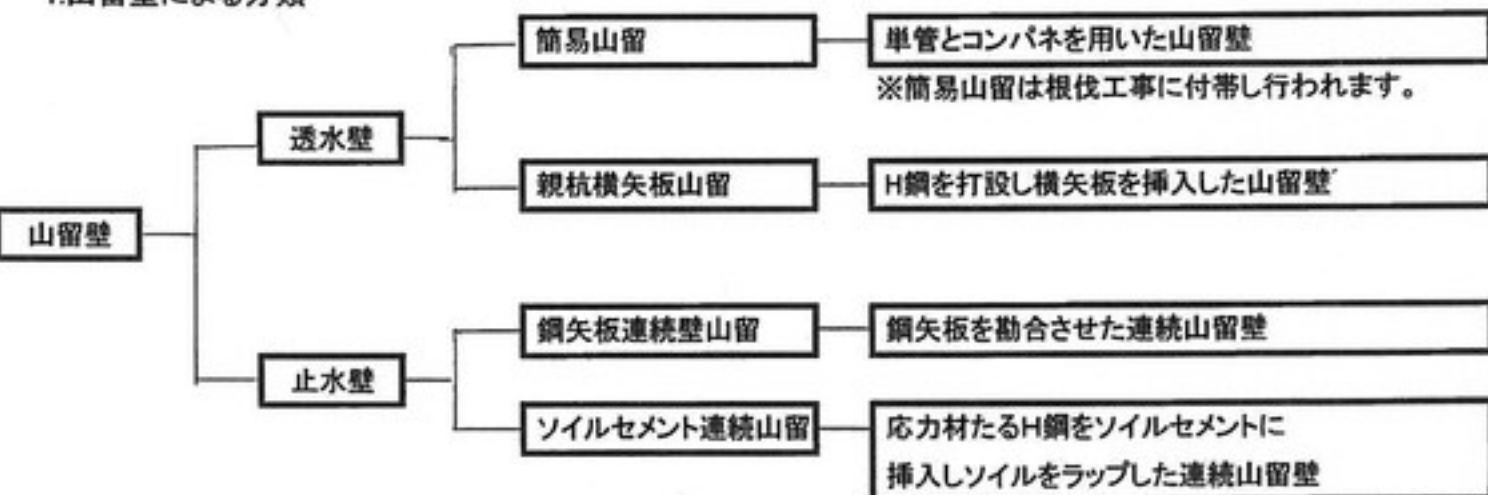
山留工事は建物の基礎部分を収容する“容器”と考えます。

容器の機能は 内容物の大きさを保証し、且つ内容物を保護する役割を担います。

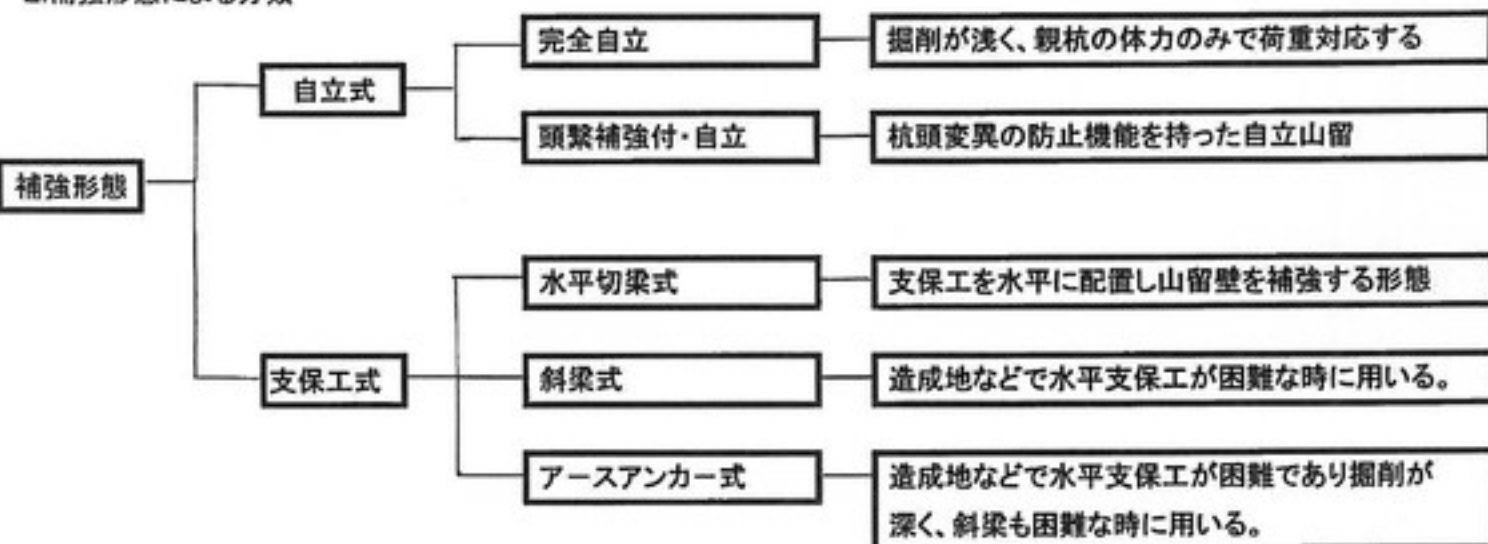
山留工事はまさに、建物の基礎部を囲い、周辺地盤の土圧に耐える役割を担う“仮設工事”です。

B 山留工事の分類と呼称

1. 山留壁による分類



2. 補強形態による分類



C 山留工事の呼称

上記 A, Bの組み合わせで呼称します。

透水工法		止水工法	
a 自立式・親杭横矢板山留	a 自立式・鋼矢板山留	e 自立式・連壁山留	
b 水平切梁式・親杭横矢板山留	b 水平切梁式・鋼矢板山留	f 水平切梁式・連壁山留	
c 斜切梁式・親杭横矢板山留	c 斜切梁式・鋼矢板山留	g 斜切梁式・連壁山留	
d アンカー式・親杭横矢板山留	d アンカー式・鋼矢板山留	h アンカー式・連壁山留	

※ 上記、山留工事に付帯し、湧水対策として“ウェルポイント工法”を併用することが有ります。